

## 平成28年度事業報告

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

### [ 総括 ]

- # 平成28年度収支決算の結果は、収入254,758,321円に対し、支出は272,440,735円で17,682,414円の赤字を計上しました。その結果、正味財産の期末残高は46,094,485円となりました。
  
- # 公益目的支出計画については、法人移行時の公益目的財産額が73,485,698円であったのに対して、28年度の実施額は6,745,926円で、公益目的財産の残額はゼロとなり、公益目的支出を完了しました。
  
- # 事業内容を展望すると、自治体が保有する消防自動車、救急車、塵芥収集車などを整備し直して開発途上国に贈与する、いわゆるリサイクル援助事業が順調に推移しており、28年度は25件15カ国に63台を贈与することができました。事業規模は164,471,211円に上ります。  
また在外公館施設の保守管理事業については、28年度分入札のうち4案件を受注した結果、継続案件を含め、35公館に技術者を派遣しました。事業規模は55,537,448円でした。
  
- # 安定的な経営状態を確保するためには、①一般社団法人として財政の基礎となる法人の会費収入が管理費のわずか10%未満という現状を改善すること。②途上国へのリサイクル援助事業の更なる拡大発展を図ること。③公益法人として相応しい新規事業の起業につとめること。そのために民間有志からスポンサーを募って資金調達をはかること——が喫緊の課題であります。

[ 公益目的事業／継続事業 ]

1. 国際知識に関する普及及び調査研究事業

# 月例講演会の開催 — 国際情勢の研究と外交政策の広報

原則として毎月一回、日本記者クラブにおいて国際問題講演会を開催している。講師は主として外務省の幹部を招いて実施しており、外交政策の普及に努めている。28年度の開催実績は下記の通り。

【平成28年度】				
日付	例会名	講師 役職	講師氏名	演 題
4/18	4月例会	外務省 アジア大洋州局 審議官	垂 秀夫 氏	台湾のこれから
5/26	5月例会	前駐米大使(一社)日本外交協会顧問	藤崎 一郎 氏	米大統領選挙の行方
6/20	6月例会	外務省 軍縮不拡散科学部長	相川 一俊 氏	核なき世界に向かって — 日本政府の取り組み —
7/29	7月例会	外務省 中東アフリカ局 局長	上村 司 氏	ISILの脅威にどう立ち向かうか
9/12	9月例会	外務省 中東アフリカ局 アフリカ部 部長	丸山 則夫 氏	アフリカで初開催された TICADと日本の貢献
10/12	10月例会	日本対外文化協会 理事	中澤 孝之 氏	日露関係の展望
11/16	11月例会	前国際連合日本政府常駐代表 特命全権大使	吉川 元偉 氏	日本の国連加盟60周年を迎えて考える
12/12	12月例会	前駐米大使(一社)日本外交協会顧問	藤崎 一郎 氏	トランプ大統領のアメリカと日本
1/30	新年例会	外務事務次官	杉山 晋輔 氏	変貌する国際情勢と日本の外交
2/10	2月例会	外務省北米局参事官	小野 啓一 氏	最近の日米関係とトランプ新政権
3/31	3月例会	立命館大学客員教授	平井 久志 氏	金正男氏暗殺と相次ぐミサイル発射 ～北朝鮮で何が起きているのか？

# 地方講演会

10月7日、水沢日本外交協会（岩手県水沢市）主催、外務省共催の地方講演会が水沢グランドホテルで開催され、外務省中東アフリカ局長の上村 司 氏が、「最近の中東情勢」の演題で講演した。

2. 在外公館支援に関する事業

外務省の入札案件であるが、当協会の恒例事業となっている。

# 在外公館施設におけるエンジニア派遣業務 2件を受注

# 自家発電装置保守点検専門技術者派遣業務 2件を受注

28年度は、計 55 名のエンジニアを 35 カ国（35 公館）に派遣している。

派遣実績・国名及び公館名：

【アジア・大洋州】(12 公館) インド：インド大、インド：チェンナイ総、インドネシア：マダン総、カンボジア：カ

ンボジア大、スリランカ：スリランカ大、パキスタン：カラチ総、バングラデシュ：バングラデシュ大、モンゴル：モンゴル大、  
ラオス：ラオス大、東ティモール：東ティモール大、トンガ：トンガ大マーシャル：マーシャル大

【中南米】（8 公館）キューバ：キューバ大、グアテマラ：グアテマラ大、コスタリカ：コスタリカ大、コロンビア：コロンビア大、  
パナマ：パナマ大、ベネズエラ：ベネズエラ大、ボリビア：ボリビア大、ホンジュラス：ホンジュラス大

【アフリカ】（14 公館）アンゴラ：アンゴラ大、ウガンダ：ウガンダ大、エチオピア：エチオピア大コンゴ民：コンゴ民大、  
ジブチ：ジブチ大、スーダン：スーダン大、チュニジア：チュニジア大、ナイジェリア：ナイジェリア大、ボツワナ：  
ボツワナ大、マダガスカル：マダガスカル大、マラウイ：マラウイ大、モリタニア：モリタニア大、モザンビーク：モザンビーク大、  
ルワンダ：ルワンダ大

【欧州】（1 公館）タジキスタン：タジキスタン大（大は大使館、総は総領事館）

### 3. 海外援助に関する事業

#### # リサイクル援助

日本国内で役割を終えた消防自動車や救急車、塵芥収集車などを自治体から譲り受け、整備し直して開発途上国に寄贈している。

28 年度は別表のとおり、15 カ国に 25 件、63 台の車両を寄贈した（内訳：消防車 21 台、はしご車 1 台、救助工作車 1 台、空港用化学消防車 1 台、地震体験車 1 台、救急車 27 台、巡回診療車〔献血車〕1 台、塵芥収集車 10 台）。このうち 5 案件については機材到着時に技術者を派遣して短期研修を行う。

（表内、\*印は短期研修を実施）

国名	契約時期	要請団体	提供機材
カンボジア	H28年5月	プノンペン市	救急車 4 台
フィリピン	H28年10月	イロイロ市	救急車 1 台
チリ	H28年12月	チョンチ消防団	消防車 1 台
アルゼンチン	H28年12月	キルメス義勇消防隊	消防車 1 台
ケニア	H28年12月	キアンプ郡	塵芥収集車 4 台
ミャンマー	H29年2月	カイン州(ヤンゴン RC)	消防車 1 台
グレナダ	H29年2月	グレナダ消防庁	消防車 1 台
エルサルバドル	H29年2月	エルサルバドル赤十字	救急車 1 台
エルサルバドル	H29年2月	社会参画局	救急車 1 台
エルサルバドル	H29年2月	エルサルバドル消防隊	消防車 1 台
フィリピン	H29年3月	フィリピン消防局	救急車 14 台、救助工作車 1 台、 消防車 2 台
スリランカ	H29年3月	ゴール市	* 塵芥収集車 5 台
ミャンマー	H29年3月	ティラワ経済特別区	* 消防車 4 台
チリ	H29年3月	国家非常事態省	* 地震体験車 1 台
アルゼンチン	H29年3月	エスコバル義勇消防隊	* はしご車 1 台
ウルグアイ	H29年3月	リベラ県庁	巡回診療車 1 台

ウルグアイ	H29年3月	ウルグアイ消防庁	消防車 4 台
ウルグアイ	H29年3月	ウルグアイ消防庁	消防車 4 台
ウルグアイ	H29年3月	タクアレombo県庁	救急車 1 台
ウルグアイ	H29年3月	サンホセ県庁	救急車 1 台
キューバ	H29年3月	オックスファム/NGO	塵芥収集車 1 台
バヌアツ	H29年3月	バヌアツ空港公社	* 空港化学消防車 1 台
トンガ	H29年3月	保健省	救急車 2 台
キルギス	H29年3月	ビシュケク市消防局	消防車 2 台
ガボン	H29年3月	シュバイツァー病院	救急車 2 台

### # 人材育成事業

日本から寄贈した特殊車両などの資機材を、安全かつ効率的に、長く使用してもらえるよう、人材育成・能力開発に特化した事業に、引き続き取り組んだ。公益財団法人 JKA の公益事業振興補助を受け（補助率 2/3）、「開発途上国における防災技術分野の人材育成と国際交流の推進事業」として実施した。これまでに当協会リサイクル援助事業で 20 台以上の寄贈実績がある国で、かつ技術指導の要請が高い国として、アルゼンチンの義勇消防隊（ボランティア消防隊）本部の協力を得て、消防技術およびメンテナンスの専門家計 4 名を派遣、北部地方の消防隊と、首都ブエノスアイレス郊外の消防隊とで各 1 週間の研修を実施した。講師陣の活躍により受け入れ機関の評価は高く、また、アルゼンチンのやり方を積極的に伝えて助言を求める参加者が多かった。講師からも、事業の意義と手応えを感じたというコメントが寄せられた。

### # 国際コンサルタント業務に関する懇談会

外務省国際協力局の幹部と国際開発コンサルタント業界との意見交換会を年数回の割合で実施している。ODA を効率的かつ効果的に実施するため、途上国のニーズに関する情報交換や援助の進め方について議論を交わしている。

### # 翻訳事業

平成 28 年度も地方自治体、公益団体、企業、個人などから翻訳業務を受託した。受注言語としては英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語があり、受注内容としては広報資料、ウェブ翻訳、技術マニュアル、公文書（レターなど）があった。

### [ その他の事業 ]

# 機関誌「日本外交協会報」の発行

日本外交協会の会報は、例会の行われた月に講師の講演内容を中心に編集して発行している。外交は国民の支援と協力があっはじめて成果をあげることができるという観点から、可能な限り外務省の政策広報に力を入れている。配布先は外務省、在外公館、自治体、関連団体など。

#### # 講師派遣

学生、社会人を対象に昨今の世界情勢などについて正確な情報を提供するため、大使OBや外務省の現役幹部などを派遣。

#### 【28年度実績】

岡三証券主催の講演会（東京講演会と大阪講演会の2ヵ所）に日本外交協会理事兼顧問、藤崎一郎前駐米大使を派遣。演題は「トランプ大統領のアメリカと日本」。

#### # 学生会議、シンポジウムなどへの後援、協力

日ロ学生会議、日韓学生会議など二国間の学生が一同に会して議論し、友好を高める活動を設立以来、支援しているほか、国際交流団体などが実施するイベントを支援している。

以上